



Green Community

日南町森林組合広報誌
グリーンコミュニティー

Contents

大林組パイロットプラント開所式	P2
N Xグループ森林育成活動	P3
活動報告	P4~
研修レポートほか	P6
日南町の林業を支える人ほか	P7
お知らせ	P8

カラマツ苗木生産パイロットプラント開所式

(株)大林組（本社：東京都港区 社長：蓮輪賢治）は、人工光と自然光のハイブリッド型の苗木生産システムによるカラマツの苗木生産パイロットプラントを阿毘縁の日南町樹木育苗センターに設置、カラマツの苗木生産を開始され、8月1日、その開所式が行われました。



同社は、木造木質化建築における川上から川下までのサプライチェーン全体を持続可能で最適なものとする自然共生の循環型モデル※Circular Timber Construction®を掲げ、木造木質化建築をはじめ、木材の利用推進と、森林の持続的な循環利用に取り組んでおられます。

そうした循環利用の中で川上にあたる「育苗・植林」においては、従来は植林用苗木の生産を露地栽培で行っていたため、天候に左右されることや、苗木の出荷までに最長2～3年程度を要するなど、安定供給が課題とされていました。そこで、同社は苗木を安定的かつ効率的に栽培・育成する人工光苗木育成技術の開発に着手されました。

人工光環境制御下では、苗木の育成に必要な光環境、温度・湿度環境、培地への灌水を制御し、外的環境の影響を受けやすい播種してから2ヶ月までの幼苗期を、その影響を回避することで安定的かつ効率的に育成できます。その後、屋外の自然光育苗に切り換えることで、屋外環境に馴化させつつコストを抑えて育苗することができ、植林後にしっかりと活着しやすい良質の苗木の育成が可能になるとともに、自然光では生育が停滞する冬季は、屋外育苗から人工光育苗に切り換えることで育苗を継続することが可能になります。

同技術で育成された苗木は、すでに町内でも植林されており、当組合及び(株)ウッドカンパニーニチナンは、大林組のパイロットプラントを技術協力しながら支援しています。



育苗センター内に設置された人工光育苗施設



自然光育成中のカラマツ

※Circular Timber Construction®

木造・木質化建築の推進にとどまらず、大林グループが保有する森林関連の事業実績やノウハウ・知見を活かし、国産木材に関する川上（育苗・植林）から川中（加工・調達）、川下（建設、発電、リユース、リサイクル）まで、素材生産～製材～利用～植林という循環サイクル全体を持続可能で最適なものにする自然共生の循環型モデルのこと

NXグループ森林育成活動

7月6日(土)、神戸上地内の「NXグループの森」において、NIPPON EXPRESSホールディングス(株)グループの社員とご家族、総勢37名が、植栽地の下草刈りや自然観察を実施されました。平成21(2009)年から活動が始まり、令和元(2019)年の森林保全活動10周年セレモニーを経て、その後、新型コロナウイルスの影響で開催が見送られた年もありましたが、昨年引き続き、今回で21回目の活動でした。

開会式では、同社の西山専任部長より「森の機能を高め、地域社会に貢献し、環境分野における人材育成のためにこの活動を続けている。サポートして下さる関係各位に感謝する」とのご挨拶をいただきました。参加者のみなさんからは、「久しぶりの参加です。炎天下での作業ですが、気持ちのいい汗をかきました」「今夜のホタルの鑑賞が楽しみです」といった声が聞かれました。小学生のみなさんを対象にした役場農林課の高木主任による森林学習では、植物を手にとってもらいながら、森の恵みを実感していただきました。



炎天下の中、3グループに分かれての下草刈り作業でした



役場農林課の高木主任による森林学習、みんな熱心に話を聞いてくれました



最後は、みんなで記念撮影です

この活動は「とっとり共生の森」活動として、鳥取県日野振興センターの職員のみなさんにもサポートメンバーとしてご参画いただきました

■活動報告 Activity report

7/1～「わくわくにちなん」

日南中学校では、町内事業所での職場体験を通じ、勤労観と職業観を育もうと職場体験学習「わくわくにちなん」を実践しておられます。

7月1日から3日間、当組合での体験学習を希望した男子生徒には、木材団地の視察、育苗センターでのカラマツの種まき、間伐作業など、林業現場の見学と作業体験を通じ、林業への職業観を高めていただきました。

最終日、「将来の進路決定の参考にします」と汗を拭いながら話す姿は、とても自信にあふれていました。



7/28 境港市民の山散策ツアー

阿毘縁地内の境港市民の山で、境港市の小学生を対象とした散策ツアーが開催されました。

当日は、山林ツアーに始まり、植栽、ハーベスタとチェーンソーによる伐倒実演、川遊び、割り箸作り、樹高クイズ、写真コンテストの表彰など、当組合職員は、ツアーのサポーターとして奔走しました。

小学生向けツアーは初めての開催でしたが、たくさんの親子連れのみなさんに参加していただきました。秋には境港市の一般の方向けツアーが開催されます。



7/30 弓ヶ浜白砂青松ぞだて隊活動

今年の3月に続き、弓ヶ浜の松林の復活活動に参加してきました。当組合からの参加は4名、総勢15名で弓ヶ浜半島の整備活動にあたりました。

猛暑の中、ゴミ拾い班と下草刈り班に分かれ活動を開始、海岸沿いには異国のジュースや、謎の旗、漂流木など普段見かけないものが散乱していました。下草刈り班は、松を傷つけないよう慎重に作業を行いました。

作業終了後、砂浜は光り輝き、松林は風通しがよくなり、すっきりした印象になりました。



8/1～名南製作所から社外実習に

8月1日から2日間、木工機械メーカーの(株)名南製作所(愛知県)より、社員4名のみなさんが林業関係の社外学習のため本町を訪問されました。

創業者が日南町出身の長谷川克次氏(故人)である名南製作所では、造林・林産現場、加工工場などを見学・体験し、木材加工機械開発に役立てようと、若手社員の社外実習を実践しておられます。

2日間の滞在中は、育苗センターと間伐作業現場見学、(株)オロチでの工場見学など、本町の林業・木材産業の実態を研鑽していただきました。



7/2・8/2 循環の森づくりを目指して

7月2日、ハウスメーカーの広島建設(株)が(株)オロチの工場を、8月2日には、斐伊川流域の森林組合と素材生産者ら約40名のみなさんが育苗センターを視察されました。

こうした機会には、収穫期を迎えた森林を伐採、町内で製品化し、伐採した森林には町内産の苗木を再造林するという町の循環型林業の取り組みを紹介しています。

植えて、育てて、伐って、加工し、また植えるという日南町の循環の森づくりが、全国から注目されています。



8/9 西部地区高校生林業体験見学会

鳥取県林業担い手育成財団主催による西部地区高校生林業体験見学会が開催されました。

参加者は、地元日野高校から1名だけでしたが、家族と一緒に、VRゴーグルを装着してのチェーンソーの仮想体験に挑戦してくださいました。

その後、当組合の林産現場では、高性能林業機械による伐倒から玉切りの現場も見学していただきました。

見学会終了後には、「将来、林業現場で働いてみたいという気持ちが益々ふくらみました」と笑顔で応えてくれました。



8/17 日南町産材が海外へ

「西日本の物流拠点」境港から日南町の杉の丸太を阪和興業(株)の仲介により中国に輸出しました。

阪和興業は鉄鋼をはじめ、非鉄、機械、木材などの幅広い商材を扱う海上物流のプロと称される商社です。

当日は、防虫対策の燻蒸処理と検査を終えた町産材170m³が船に積み込まれました。(株)オロチのLVLの台湾輸出に続く試みで、FSC[®]森林認証を取得し、国際基準で森林を管理していることで対外的な評価も集めています。町の森林の未来を創造する一歩になればと考えます。



8/20 台湾林業企業・学生らが来町

日南町の林業の取り組み、(株)オロチのLVL工場の見学、林業アカデミーの視察、これらを目的に台湾から林業企業関係者5名と大学生2名が来町されました。

国土の60%が森林で、内95%は国有林という台湾では、過去の大規模伐採を教訓とし、環境保護の観点で、1990年から禁止されていた天然林(国有林の85%)の伐採が、近年、一部解禁になったとのこと。この30年間で衰退した林業の再興のため、日南町の林業振興のシステムを参考にしたいと、熱心に質問を重ねておられました。



写真提供：日南町林業アカデミー

長野研修から期待するカラマツ林の将来

昨今、花粉発生源となるスギ人工林を減少させるため、全国的にスギ林の伐採・植え替えの加速化が叫ばれています。

そこで、他県の対策状況を調査するため、カラマツ林の再造林が盛んな長野県佐久地域へ研修に行ってきました。

長野県の現状として、スギ林中心の地域では皆伐が進んでおらず、その理由としてスギの材価低迷による山への関心の低下が大きいということでした。一方カラマツ林中心の地域では、皆伐再造林が盛んでありその理由としては、①スギ材価より好調なこと、②カラマツ材需要拡大により山主の皆伐再造林への意欲も高いなどがあげられました。

以上のように、カラマツの市場が順調にも見えますが、以前の技術水準では使える用途が限られていたため、カラマツの不遇の時代が長く続いていたようです。現在では、技術の進歩により、LVLや合板としての利用価値が上がってきたことや、強度が高い樹種であることによりカラマツの評価が見直されているとのことでした。

長野県と日南町では、気候状況など違う点も多く、全てが参考になるとは限りませんが、土地にあった施業方法を確立していく必要があると痛感しました。

今後、皆伐再造林の樹種を検討される際には、日南町樹木育苗センターで栽培したカラマツ苗木を選択肢の一つに入れていただければと思います。

(報告者：毛利裕嗣)

日南町樹木育苗センターから初出荷したカラマツ苗木の現在



○樹 高：350~500mm
○根元径：3.5~5mm



○樹 高：1,120mm(平均値)
○根元径：17.4mm(平均値)
※写真はR6年8月(下刈後に撮影)

FSC® 森林認証・FM認証の更新審査

8月20日、(株)アミタによるFSC® 森林認証・FM認証の更新審査が行われました。審査期間は3日間で、①すべての認証原則の確認②現地検査③林業関係者への聴き取りが行われました。その際、指摘された事項は下記の通りです。

- ①すべての認証原則の確認
 - ・取引先の苗木業者が使用する農薬にFSC®禁止農薬が使用されていないかの把握
 - ・日南町内の山林調査マニュアルのデータ更新
- ②現地検査…軽微な指摘のみ
- ③林業関係者への聴き取り
 - ・安全対策(蜂の抗体検査)の実施
 - ・1人で作業される方が安全に作業を遂行できるためのフォロー



指摘事項については、速やかに対応します。森林認証を取得してから15年目となりました。FSC®の認知度も近年徐々に高まりつつありますが、まだまだ十分に認識されていない部分もあります。少しでも関心をもって頂けるよう尽力して参ります。

■ 日南町の林業を支える人 interview



田辺林業
まつうら ゆうき
松浦 悠樹さん

Q 1. 林業の仕事歴は？
2年目です。

Q 2. この仕事に入ったきっかけは？
転職を考えていた時、田辺社長に声をかけていただいたことがきっかけです。

Q 3. 仕事の内容は？
木材の伐倒、搬出、運搬です。

Q 4. 難しいと思うところは？
間伐後の森林をイメージして、伐採する木を選木することです。

Q 5. 林業の仕事についてよかったと思うところは？
難しいこともたくさんありますが、仕事を通していろいろな体験が出来て、毎日が楽しいことです。

Q 6. 今後の目標は？
日々経験して、早く一人前になることです。

Q 7. 熱中していること、または趣味は？
アニメ鑑賞です。

今月の表紙写真にご登場いただいた松浦さんです。取材へのご協力、ありがとうございました。

F S C[®]プロジェクト認証取得

令和6(2024)年1月に完成した日南町森林組合事務所が、F S C[®] プロジェクト認証基準の要件を満たしている建築物であることが認められ、このたび、町内4番目の認証施設となりました。

今回の認証では、梁、母屋、間柱などに(株)オロチのF S C[®] 認証材であるL V Lを使用していることが評価されました。構造材は、その全てがL V Lで、強度も非常に優れています。また、壁や天井にはL V L特有の美しい縞模様が広がっています。

このプロジェクト認証は、事業体そのものではなく、建設や製造されるプロジェクト（建築物、土木構造物、イベントステージなど）自体を認証する仕組みです。今回取得した認証は、以下の3つのパターンのうち、②プロジェクトの特定部位に対するF S C[®]表示に該当します。

- ①全体プロジェクト認証表示
- ②プロジェクトの特定部位に対するF S C[®]表示
- ③パーセンテージ表示



■ お知らせ information

林業まつりの開催が決定

林業まつりを2年ぶりに開催します。期日は、にちなんふる里まつりの期間中、11月2日(土)又は3日(日)に予定しており、林業体験や伐木チャンピオンシップなど、子どもから大人まで楽しめるまつりを計画中です。

開催日やまつりの詳細は、HP、Facebook、Instagramなどでお知らせします。



旧事務所の解体工事

新事務所の使用開始に伴い、旧事務所の解体工事を行いました。

築40年が経過した旧事務所は、災害レッドゾーンに位置していたことや、職員数の増加による機能低下、耐震構造の問題などを抱えていたため、このたびの新築移転となりました。なお、旧事務所跡は、駐車場として利用しています。



組合員名義変更などについて

亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方は、森林組合までご連絡ください。届出用紙をお送りします。

引越しをされてご住所が変更になられた方もご連絡いただきますようお願いいたします。

担当 総務課

Instagram始めました

このたび日南町森林組合の公式Instagram (Instagram) を開設しました！！

こちらのアカウントでは、日々の仕事の様子、イベント、お知らせ等、タイムリーに発信していきます。

引き続きFacebookにも投稿していきますので、併せてフォロー、いいね！ボタンでのエールをお願いします。

みなさんからのコメントもお待ちしています。



当組合Instagramアカウント

ご相談窓口

TEL 0120-988-928 (フリーダイヤル)
受付時間/9:00~17:00(土日・祝日除く)

山についての相談はこちらにお電話を！

組合員数 (令和6年8月31日現在)

正組合員数 1,474名

准組合員数 6名

発行元

日南町森林組合

〒689-5211

鳥取県日野郡日南町生山4 2 3 - 2

TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321

E-mail info@n-forest.jp.net

HP http://n-forest.jp.net

ホームページ



Facebook



Instagram

